
南津子プロデュース告白大作戦！！

愛.main

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

南津子プロデュース告白大作戦！！

【Nコード】

N7452M

【作者名】

愛・main

【あらすじ】

ここは、日本のとある中学校。
そこに通う、愉快南津子と岩倉亜衣＋亜衣に惚れている奴らが繰り広げる

恋あり、笑いアリ、失恋あり！？！の恋愛コメディーここにあり！

夏のある日

「南津子？」

南津子

「ここだよ」

ここは、日本のとある中学校。私はそこに通う愉快南津子。
みんなからは、名前どりの性格だねってよくいわれる。

「南津子!!」

こっちは、親友の亜衣。かわいくて、明るくて、やさしいからモテるのよね

亜衣

「南津子ってば!!」

南津子

「ああ、ごめんごめん。で、何？」

亜衣

「も」。人の話聞いてないんだから!」

南津子

「で、何？」

亜衣

「だから、夏休みのバスケット部合宿お兄ちゃんの許し出たからいいって事」

南津子

「マジ！？やったね！」

じゃ、早速メールつと

あつ誰にメールするかってゆーと

亜衣に惚れてるやつら。

事の始まりは4月にさかのぼる・・・

夏のある日（後書き）

4月 入学式のこと（溝端ルート）（前書き）

今回からは、亜衣に惚れている奴らがどうして亜衣に中学校で再会したのかと、亜衣に惚れたのかを、南津子がはなします！（亜衣に惚れてる奴らの名前もできます！）

4月 入学式のこと（溝端ルート）

4月 入学式（語り：南津子）

南津子

「亜衣〜早く〜」

亜衣

「南津子〜はいよ〜」

今日から、私達は日本のとある中学校に入学するのだ！！
まあ、中学校なので、小学校のメンバー＋ なのだけなのだが・・・
それでも！！＋ の奴らにかけよう！！（何かを）

南津子

「とにかく！！レッツゴー！！」

亜衣

「何が、とにかくなの！？」

体育館前

南津子

「ついたー！！」

亜衣

「南津子！！」

亜衣

「マゾなの・・・」

溝端

「違う！しかもお前俺と同じ小学校だろっ」

亜衣

「・・・・・・・・・・ああ」

溝端

「（ガーーーーー！）」

南津子

「・・・・・・・・」

放送

ピンポンパーンポーン

「新入生のみなさいん、体育館のイスにただちに座りなさい。」
ピンポンパーンポーン

南津子・亜衣・溝端

「・・・・・・・・」

南津子

「お先にっ」

溝端

「あっ」

亜衣

「まっ
て」

3人はそれぞれにイスに座った。

4月 入学式のこと（溝端ルート）（後書き）

次回は溝端ルート＋です。

南津子

「大丈夫じゃないって言ったらどうなんのよ？」

「???」

「そりゃあ・・・」

先生

「時村ああああ！！！！！！！！」

時村

「やばっ、じゃあまたなっ、愉快に岩倉！」

南津子

「は！？何で私達の名前して」

亜衣

「待てよ！時村けーた！！」

南津子

「何で知ってんの！？」

亜衣

「・・・南津子・・・」

南津子

「何？」

亜衣

「クラス表見た??」

南津子

「うん」

亜衣

「よく見た？？」

南津子

「いや？」

亜衣

「あいつ僕達と同じクラスだよ」

南津子

「・・・・・・・・マジ？」

亜衣

「そうだよ・・・」

しばらく沈黙があり、教室についた。
ちなみに、私達は1 - 4である。
教室につくと、時村がいた。

時村

「よう、愉快に岩倉」

南津子

「さつきはよくもぶつかってくれたわね・・・」

時村

「さ、さっきは急いでたんだよ・・・」

亜衣

「でも、ぶつかったんだから、謝りなよ」

時村

「・・・ごめん」

南津子

「以外と素直ね」

そんな感じで、3人で話していたら、先生が入ってきた。
私達は急いで席についた。

先生

「おはよう！私は1 - 4担任の日種花といいます！
今日は転校生を紹介するよ！！さあ転校生君、入ってきて！」

すると亜衣と同じくらいの身長（138cm）の男子が入ってきた。
・

4月 入学式のあと、教室にて（溝端ルード＋）（後書き）

今日は、新キャラ時村君が出てきました！まだ亜衣には惚れていませんが、その内なるでしょう！

4月 転校生がやってきた（浜波ルート）

転校生

「浜波優。よろしく」

日種先生

「じゃあ・・・岩倉さんのとなりかなっあの、ポニーテールの眼鏡の子!」

浜波

「よろしく」

亜衣

「おう!よろしくな!（にっこり）」

浜波

「・・・・・・・・」

南津子

「（ん?・・・あの転校生・・・）」

日種先生

「じゃあ・・・最初だからオリエンテーリングって事で・・・
みんなで交流を深めてね。」

日種先生は、「じゃ、そーゆーことで、後は溝端君、愉快さんよろしく」といって

教室から出て行ってしまった。

「 浜波
．．．．」

「 亜衣
浜波？」

「 浜波
お前さ．．」

「 亜衣
????」

「 浜波
もつたいないよな．．．」

「 亜衣
はあ????」

「 南津子
亜衣！こっち手伝ってよ！！」

「 亜衣
今いく」

「 浜波
おれも手伝う！」

「 南津子
．．．あんだねえ．．．」

亜衣

「あははっなんで浜波のかんげー会なのに浜波が手伝っただよっ」

南津子

「そつ。だからあんたはそこにいてっ（それとも、そんなに亜衣と一緒にいたいのか）」

浜波

「!？」

亜衣

「????」

南津子

「亜衣！はやくてっだつて！」

亜衣

「うん！」

でまた10分後・・・

クラスのみんな

「でーきたー！ー！ー！ー！ー！」

南津子

「じゃ浜波はこっちね」

浜波

「おいっ」

南津子

「（あら？エスコートは亜衣にやってほしかった？）」

浜波

「~~~~~」

亜衣

「浜波？どうした？顔まっかだぞ？」

浜波

「別に何でもねーよ」

亜衣

「そうか？」

南津子

「じゃ初めよ~~~~~！！！！！！」

クラスのみんな

「おお~~~~~！！」

んでもって30分後・・

クラスのみんな

「浜波君、これから1年よろしく~~~~！！」

浜波

「お、おう」

こうして入学初日は終わった。

4月 転校生がやってきた（浜波ルート）（後書き）

浜波君は一目ぼれです！ちなみに、亜衣はいつもポニテの眼鏡っ子です。+笑顔がかわいいです。でももったいないことに性格は男子っぽくて言葉遣いが男です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7452m/>

南津子プロデュース告白大作戦！！

2010年10月13日01時39分発行